

# 12月3日(日)公演「サントリー 1万人の第九」合唱参加者募集

募集期間／6月5日(月)～19日(月)

主催／毎日放送



「僕は世界」幸せな指揮者」

総監督・指揮／佐渡裕

総監督を務めるのは、今年で8回目となる、指揮者・佐渡裕さん。「僕の1万人の第九での役目は、音に感謝の気持ちを含め、時代も国籍も超え、人と人をつなげることを、具体的に音にすること。みなさんと一緒に、舞台上に立ち、音楽が創れることを、ものすごく誇りに思います。そして、僕は世界一幸せな指揮者だど！今年も全力で本番に向かいます」



毎年、12月の第1日曜、大阪城ホールで開催される「サントリー1万人の第九」。世界的な指揮者・佐渡裕さんの指揮の下、壮大なオーケストラと1万人の合唱団が、ベートーベンの第九を演奏します。その合唱団は、3カ月の練習をやり遂げた、一般公募の人々。参加者のほとんどが、「全身が震えるほど感動した」と目を潤ませるこのコンサートを、今年、あなたも体験してみてください。

5000円で

歌のレッスン&コンサート出演

- 募集人数 1万人(抽選で選出)
- 参加資格 小学生以上で「1万人の第九」レッスン(表参照)と下記スケジュールに出席可能な人
- 佐渡裕レッスン 事務局が指定する次のいずれか1日(予定)／11月25日(土)、26日(日)、28日(火)、29日(水)
- 総合リハーサル 12月2日(土)午後4時～6時(予定)。会場／大阪城ホール
- 公演日 12月3日(日)集合午前9時30分(公演時間：午後3時～5時40分予定)。会場／大阪城ホール
- 参加料 大人5000円、小・中学生3000円
- 募集期間 6月5日(月)～19日(月) ※6月4日(日)以前到着分は無効。6月19日(月)到着分まで有効。7月中旬に抽選結果を連絡
- 応募方法 ホームページ、携帯サイト、往復ハガキで受け付け。※一人1件の応募に限ります。応募方法の詳細は、下記のアドレスを参照して。
- ▽ホームページ・携帯サイト <http://mbs.jp/daiku/>

## 感動の歌声 きっと一生の思い出になる

★「1万人の第九」レッスンクラス

12回クラス

大阪 A	月曜日	午後3時～5時	8/21～11/20	会場①
大阪 B	火曜日	午後6時30分～8時30分	8/29～11/21	会場②
大阪 C	水曜日	午後6時15分～8時15分	8/30～11/15	会場③
大阪 D	水曜日	午後6時30分～8時30分	8/30～11/22	会場②
大阪 E	土曜日	午前10時30分～午後0時30分	8/19～11/18	会場③
大阪 F	土曜日	午後1時～3時	8/19～11/18	会場③
大阪 G	日曜日	午後1時～3時	8/20～11/19	会場③
大阪 H	日曜日	午後3時30分～5時30分	8/20～11/19	会場③
神戸	火曜日	午後6時30分～8時30分	8/29～11/21	会場④
京都	月曜日	午後6時30分～8時30分	8/28～11/27	会場⑤

会場＝①エル・シアター(エル・おおさか内・天満橋) ②大阪倶楽部4階(淀屋橋) ③梅田東学習ルーム体育館(東梅田) ④兵庫県民小劇場(神戸市) ⑤京都教育文化センター(京都市)  
※クラスはほかにもあり。詳細はホームページを参照。  
※12回クラスは欠席が3回を超えると本公演出演不可(参加料の返却はなし)。  
※レッスンスケジュールは諸事情により変更になる場合があります。



～2005年、参加者のメッセージ～

「結婚前に、母娘での思い出を作りたいで参加」  
「冬のソナタもいけど、冬の第九\*サド様、もっと好き！」  
「ストレスを、第九で発散！」  
「毎回新鮮！緊張、そして感動です！」  
「手のかかっていた小さな娘と、一緒に参加できるなんて…。感無量です」  
「妻と第九を練習できる喜びを感じています」  
「妹と参加できてうれしい！今度はママも誘おうね」  
「合唱がこんなに楽しいものとは思いませんでした」

### ユニソナも思わず涙



「一昨年、昨年と、ソプラノのパートで参加したユニソナさん。「第九」という曲を1万人と一緒に歌うことって、多分、韓国でもない、世界にもないと思うんですね。練習では、苦労した部分も多かったんですけど、終わって見たら感動が涙があふれそうになっていました。本当にいい思い出です。人間の力ってすごいなって、改めて圧倒されますよ」



H Pでは、参加者と佐渡さんによる\*交換日記。が毎年人気

問い合わせ  
毎日放送事業局内  
「サントリー1万人の第九」事務局  
☎06(6359)3544  
(平日午前10時～午後5時)  
<http://mbs.jp/daiku/>

12月のフィナーレに向けて  
おケイコ感覚でスタート

ベートーベンの「交響曲第9番」は、「喜びの歌」「歓喜の歌」として日本でも親しまれている楽曲。年末には各地で演奏会が行われますが、「サントリー1万人の第九」は、1万人の歌声でハーモニーを生み出す、壮大なコンサートです。

合唱団は、会社の同僚や友達、恋人、家族など、身近な人を誘って参加している一般の人々。ほとんどが未経験者からのスタートで、「声の出し方がわからな

た」「自分の歌に自信がなかった」と、上達を実感。難しかったドイツ語の発音が、徐々に美しいハーモニーへと変わるレッスンの過程に、魅了される人も多くなりました。

「何か新しいことを始めたい」と思っている人は、おケイコ感覚で気軽に参加してみてください。ドイツ語で「第九」が歌えるなんて、オフィスでも自慢になりう。

そして、12月に迎える本番のコンサートでは毎年、

スペシャルゲストが登場。会場のボルテージも一気に上がります。過去には平井堅さん、森山直太朗さんらがステージを盛り上げましたが、今年のゲストは？

1万人の仲間と歌う、ココだけの感動を、一年の締めくくりにしてください。

※主催／毎日放送、後援／大阪21世紀協会、大阪府、大阪市、毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社、関西音楽大学協会、協賛／サントリー。